

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日13:00～14:00	会長	岩崎幸弘
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	加藤正広
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	深見礼子



2019～2020年度名古屋アイリスRCのテーマ

アイリスは 希望に満ちて 新時代
～前途洋々～

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第297回 例会

2019年11月27日 13:00～

- 司 会 島村恵三 例会運営・司会委員長
- 斉 唱 君が代 奉仕の理想
- 出席報告 出席者数 21名 / 34名
出席率 61.76%
- ゲスト
- ビジター 名古屋和合 RC ガバナー補佐 吉田正道様
名古屋和合 RC IM 実行委員会グループリーダー 坪井和義様

ニコボックス

- ガバナー補佐 吉田正道様、名古屋和合 RC IM 実行委員会 GR 坪井和義様
来年2月26日のIMには、皆様こそって参加いただきます様お願い致します。
- 岩崎幸弘会長
吉田ガバナー補佐、そして坪井様、ようこそ我がアイリスへ。あいにくの天気ですが、明るく楽しい例会にしたいと思います。
- 加藤正広幹事
東名古屋分区ガバナー補佐吉田様、IM 実行委員会グループリーダー坪井様、ようこそアイリスへ。IM、楽しみにしております。

会長挨拶



冒頭で～ツアラトウストラはかく語りき～が流れる中、会長挨拶が始まりました。

1986年 明治29年11月27日、R・シュトラウス：交響詩《ツアラトウストラはかく語りき》初演された日です。同年暮れの11月27日、ドイツのフランクフルト・アム・マインにて、シュ

トラウスの指揮により初演された。その3日後の11月30日にはベルリンでニキシュの指揮により、またその翌日12月1日にはケルンで演奏された。

ということでみなさん、こんにち。寒さが身に染みる季節となってまいりました。今日は、ネクタイは音楽にしている・・・という何ともしとめのないお話で

ございます。ネクタイというもの昔は、ビジネスマン(会社人間)にとって 必須のアイテムでありました。どんなに暑くても、がまんがまん。しかし、昨今は、ネクタイがなくてもOK!! 大丈夫!といわれております。それでも営業の際は企業のルールもありますし、いつでもOKというわけではないこともあります。非常に気を使うしろものであります。

そもそもクールビズという期間ですが、環境省がHP上で発表するということをご存知でしたか?平成17年ごろからといわれています。2005年から2010年は6月1日～9月30日でした。2011年から2015年は5月1日～10月31日、2016年から2019年は5月1日～9月30日とされております。その源流として1979(昭和54)年6月6日、オイルショック後の省エネルギー対策で登場したのが半袖スーツ「省エネネク」。当時、大平正芳首相自らが着用され国民にアピールした。ということですが個人的には羽田元首相が誰も着ない半そでのスーツを着ていたのを覚えております。

本日はネクタイの話をするつもりでした。男性のみなさまはネクタイを何本在庫としてお持ちでしょうか?わたしは全然使わないものをふくめて・・・60本くらいありました。もう使わないものでも、思い出があるのでなかなか捨てられません。成人式の時に買ったネクタイ(VAN ヤマサダ)で買ったな。就職してユニモールの三峰で買ったやつの模様はよかったなあ。エンジと紺のニットタイを買った23、4歳を記憶は、鮮明に憶えています。そんなことで自分の人生、歴史にそって思い出されるネクタイと音楽はよく似ているなというお話でした。

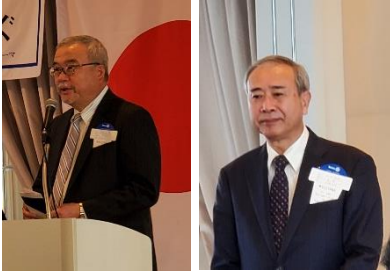
幹事報告

12月の例会のお知らせ

12月4日例会は、年次総会を行いますので、理事会をいつもと違い、例会前の、11:45～行います。お間違えの無いよう宜しくお願いします。12月11日例会は、会員増強の卓話です。守山RCの西脇様にて、大変すばらしくて面白い増強のやり方の卓話です、沢山の方がお集まりくださいますよう宜しくお願い致します。

12月18日例会は、本年最後の例会になります。内容は、クリスマス家族忘年会です、18:00～行います夜間例会になります。お間違えの無いよう、ご家族も含め、沢山方お集まりください。

IM ご案内



ガバナー補佐 吉田正道様、名古屋和合 RC IM 実行委員会 GR 坪井和義様にお越し頂き来年 2 月 26 日に開催されます IM のご案内を頂きました。吉田様、坪井様ありがとうございました。

卓話

「いまさら聞けない AI」

藤谷猛クラブ戦略委員長

現在、テレビや雑誌で毎日のように登場する「AI」という言葉の本当の意味を知っている方は少ないかもしれません。そこで藤谷戦略委員長から「いまさら聞けない AI」というテーマで卓話を頂戴致しました。

AI (Artificial Intelligence) という言葉の定義については「人工知能とは、人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステム」が一般的とされていますが、実のところ研究者によってまちまちなのです。そこで国内の主な研究者による主な AI の定義のご説明を頂きました。そして AI の歴史、AI の種類について理解いただいた後で、AI の原理を利用した 3 種類のアヤメを AI が自動分類する仕組みを利用して、AI を支える技術の一つである機械学習やディープラーニングの簡単な説明がありました。これらの機械学習・AI の応用例として、「肺結節の自動検出」、「きゅうりのランク自動判断」、次に皆さんも簡単に実験・利用のできる白黒写真を自動でカラー化する仕組みなどが説明されました。

最後に AI が発達することによってこの先はどうなるのかという疑問が湧いてきますが、その一つの答えとし「2045 年：シンギュラリティの到来」と言われているものがあります。このペースで進化が進めば 2045 年あたりにシンギュラリティ(技術的特異点)を迎える事になるというお話がありました。シンギュラリティというのは次のような事象と言われています。

・人間を超える知能をもつ人工知能が発明された時

のことを指す。人間が人間を超える人工知能を発明することができたということは、その人工知能は、さらに賢い人工知能を生み出すことが可能になると考えることができる。つまり、爆発的(再帰的)に知能の高い人工知能が開発され、人間には到底想像も出来ない人工知能がどんどん生み出されて生活が一変すると言われている。

では、シンギュラリティで何が起きるのか？

・1000 ドルのコンピューターは全ての人間を合わせたより知的である。これはローエンドのコンピューターであっても人間よりはるかに賢いことを意味する。

・人工知能は地球上で最も賢く最も有能な生命体としての人間を上回るように発生する。技術開発は、自ら考え、行動し、通常の間には何が起きているのか理解できないほど迅速に相互通信できるマシンによって引き継がる。マシンは、AI 自らの手でそれぞれの新しい世代が迅速に開発される、自己改善サイクルの「暴走反応」に入る。これ以降、技術の進歩は、マシンの制御下におかれる。

以上がシンギュラリティの説明です。

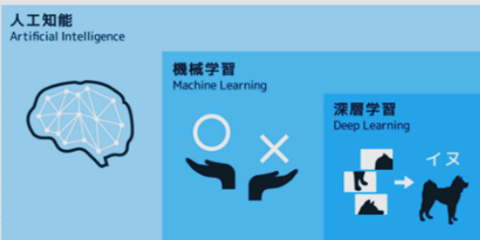
本当に 2045 年にシンギュラリティが訪れるかどうかは分かりませんが、これからの時代は AI が当たり前になる事は間違いないようです。皆さんも頭の片隅に AI の知識を入れておかれれば一つの指標になるのではないのでしょうか。

例会が終わって

例会が終わってからガバナー補佐 吉田正道様、名古屋和合 RC IM 実行委員会 GR 坪井和義様、岩崎会長、加藤幹事で記念写真を撮らせて頂きました。



AIを支える技術



14